

令和5年度 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事については、旬の食材を用いた食事会を開催するなど、楽しむことができている。日々、利用者との会話を意図的に多く持つことで、その人の思いを汲み取るよう努めている。地域とのつながりについては、外出の機会が少なく十分とは言えない状況ではあるが、コロナ禍以前の状態に戻りつつあると感じている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の活動等に関する情報収集等行えておらず、地域の一員としての活動や交流はできなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区で行っている健康教室など、包括支援センターからも参加の促しをしていきたいです。 ・情報収集や連絡調整不足という原因が明らかなので、今後の改善に期待します。 ・各地区で開催されている「認知症カフェ」に参加する、または、グループホームで「認知症カフェ」を開催し、地域に開放する。それをするために村担当者に相談、助言してもらおうというのはいかがでしょうか？(項番4、20同様) ・新型コロナの影響等で難しかったと思います。今後は地域密着型サービスの役割を意識した取り組みをご検討願います。 ・コロナ禍であったことが大きな原因と思われる。 ・評価ではなく確認になります。利用者が地域への連携に必ずしも関わるものではなく、従業員さんができる地域貢献があるとすれば、地域住民から事業所への理解協力体制が構築できるのではないのでしょうか？ 		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	令和4年度の運営推進会議で課題としてあげられた「食事の楽しみ」について取り組むことで、利用者から好評を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・外食であったり、イベント食で利用者にとってプラスになっている様子が伺えたのでとても良かった。 ・実のある推進会議から成果を上げていきましょう。 ・目標達成計画について、どのような楽しみをしているのでしょうか？外での食事も入っていますか？ ・運営推進会議での意見等を参考に取組まれていることにお礼申し上げます。 ・運営推進会議における事業所外の意見を考察し生み出した回転寿司は、特に想定以上の成果が得られた企業努力の賜と言える。運営推進会議が生かされた良い例と考える。 		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進委員に村担当課(者)と地域包括支援センター職員にも入って頂くことで情報交換するなど、協力関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターで行っている連携会議に出席していただき、情報交換はできていると思います。 ・情報交換、共有しながら協力し合い関係性を維持できるように密に連携していければ良いと思います。 ・関係機関等との連携は必要不可欠だと思いますので、今後の協力関係の深化に期待します。 ・村の会議等(地域ケア会議など)にもご参加いただければ助かります。 ・コンプライアンスの強化などを考えるうえで、村当局との関わりは不可欠です。各種会議はリモートではない顔の見える対面会議が増えていきますので、ますます連携を深めてください。 		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナクラスターの際に一時的に利用者さんを居室から出られないような措置を講じた時もあったが、日常的な身体拘束に関しては行っていない。また、定期的な勉強会を実施することで身体拘束廃止の理解を深めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている(1名) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている(6名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスクラスターは、その事情性状から言えば感染対策のため居室からの出入りを制限したもので、拘束したとは言い難いと考える。 ・職員の研修も含めて、引き続き取り組みをお願いします。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	権利擁護(虐待防止・身体拘束廃止等)に係る研修を定期的実施しており、職員全体で防止に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている(5名) <input type="radio"/> B. ほぼできている(2名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・職員の介護ストレスが溜まらないよう、職員への配慮もお願いします。</p> <p>・虐待は無いと思っています。</p> <p>・運営推進会議など、機会を捉え事業者側としてマイナス案件の報告を委員に対し説明するなど、事業の透明性が伺え、自己評価ともに正当性が高いものと考えます。</p> <p>・(身体拘束と同様に)研修等を通じて職員の理解と防止の取り組みを継続してください。</p>
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	現在、成年後見制度を利用している利用者がいないため、現実的に必要性を感じるまでには至っていない。ここ数年権利擁護に係る研修を実施していないので、制度を学ぶ機会を設ける必要がある。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用契約締結時や料金改定の際は、都度詳細にわたる懇切丁寧な説明を行い、同意を得ている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に関しては、日頃コミュニケーションを図る中で意見や要望を確認している。利用者本人から意見や要望を確認できない方については、家族等から電話連絡時に要望など聞き取り確認している。また、自己評価に係るアンケート調査を実施し、意見として出されたものを運営推進会議等で公表、検討している。		A. 十分にできている(2名) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている(5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・コミュニケーションを図ることで信頼関係を築けるので、要望や意見など、今後も確認しながら対応していただきたいです。 ・利用者様とは日頃コミュニケーションを図っているようですが、家族には利用者様の様子等を知ってもらっているのでしょうか？(理解されて安心されていることを望みます。) ・事業者側として対応が十分でないと考えている部分についても運営推進会議において報告、説明がなされています。 ・利用者、ご家族の意見を踏まえた運営の継続をお願いします。一方で、コミュニケーションがとれていて安心しているからなのか、それとも関心が無いからなのか、ご家族の運営推進会議への参加が少ないのが少し気になります。(お仕事等の都合もあると思いますが)
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部署会議や代表者会議を通じて職員の運営に関する意見・提案を聞く場を設けている。また、年度末に実施している職員個別面談の際にも様々な意見・要望等を聞く機会を設けており、可能な限り運営に反映させている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処遇改善や正職員への登用の推進、各種手当(資格手当・業務手当など)の改善を行い、働く意欲を持てるような環境条件の整備に努めている。また、今年度からはキャリアパス概念図を明示し、それに基づく運用に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている(7名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が働きやすい環境を作っていくことは、とても大事なことです。 ・職員の皆さんが満足できるように、そして長年勤めて欲しいと思います。 ・職場環境について知る術がないかなーと思います。(お知らせいただいているかもしれませんが…) ・(法人全体での取り組みになると思いますが)ワークライフバランスを意識した勤務体系の構築を検討してみてください。仕事のやりがいもさることながら、プライベートの充実を重視する人が多くなっているように感じるのです。(特に若い世代で)
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修計画に基づいて定期的な研修へ参加している。また、資格取得支援事業等を整備することで職員のキャリアアップの支援等を行い、資質向上に努めている。		A. 十分にできている(2名) B. ほぼできている(4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がキャリアアップなど、モチベーションを上げていけるような体制作りも必要です。 ・代表者さんと教育のほか、職員一人ひとりを個別ミーティングをして、心のケアもお願いしたいと思います。(行われていたらすみません) ・職場環境について知る術がないかなーと思います。(お知らせいただいているかもしれませんが…) ・(上記Ⅱの)ワークライフバランスも踏まえつつ、職員がやりがいを感じる、育成、研修方針を整え、取り組んでください。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県グループホーム協会や県北ブロック協会開催の定例会(研修会)、人事交流等は、コロナ禍により開催には至っていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症による意欲低下が見られる中、利用者ができる事を考え、可能な限り役割(家事等)を持って生活できる支援に努めている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個別的に自宅を訪問したり、面会も支援することで、家族や友人等との関わりを持つことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の方にとって家族や友人との関わりはとても大切なことですので、今後も継続できればと思います。 ・利用者の気持ちを把握し、寄り添いながら対応を充実させて欲しいと思います。 ・馴染みの美容院への支援も利用者様にとっても良いことで安心だと思いますが、会話もできて気分転換にもなるのではと思いますので、続けていただきたいと思っています。 ・利用者様が地域とのつながりを感じられる取り組みを引き続きお願いします。 ・利用者さんの状況から思慮すれば、昔のことほど記憶していると考えます。職員の方には大変な労力と推察しますが、昔馴染みへの訪問は利用者さんにとって、とても励みになると思います。 		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「ひもときシート」を活用することで、その人の思いや希望する暮らしの把握に努めている。本人からの確認が難しい場合は、家族からの情報収集し、利用者本位に努めている。アセスメントで得られた情報については、職員間で共有するようにしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月モニタリングを行い、より良いケアに繋がるようカンファレンスで検討している。また、担当職員がアセスメントを行ったものをもとに、カンファレンス出席者で再アセスメントを行うことで、より多くの意見やアイデアを取り入れ、介護計画に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・より良いケアのために、従属的に多くの人の意見やアイデアを取り入れることも利用者にとってプラスになっていると思います。 ・良好なチームワークで継続してください。 ・忙しい毎日の作業に追われている中ですが、毎月のモニタリングは続けていただき、より良いケアに繋がるのであればこのまま続けて欲しいと思います。 ・引き続きチームケアの取り組みをお願いします。 ・利用者さんの小さな気づきは、カンファレンスなどこういった情報共有と実践から生まれるものと思います。ほんの少しと思うような意見が出る職場づくりを今後も継続されると良いと思います。 	A. 十分にできている(3名) Ⓑ ほぼできている(4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間でのカンファレンス(ケース検討会)は行われているようですが、その話し合いの場に本人や必要な関係者も入れて意見やアイデアを取り入れることができれば、更に良いと思います。 ・チームの関係性が良好なことで、より良いケアにもつながりますので、今後も良い関係性を築いて欲しいです。 ・十分にできているようですので、意見はありません。 ・モニタリング、カンファレンスが形骸化しないような工夫をしながら取り組みを継続されるようお願いいたします。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録や申し送りノートで情報を共有し、実践や介護計画に活かしている。記録については、表現や書き方等で気づいた点を職員間で意見交換するなど、見直しに役立っている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている(7名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース記録はとても大事ですので、気付いたことなどは記録し、他の職員も必ず目を通すようにしていただきたいです。 ・ケース記録や申し送りノートを見た職員さんはチェックしたとき名前のサインを記しているのでしょうか？(見落とし防止のため) ・継続した取り組みをお願いいたします。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	敷地内には併設する他のサービス事業所があり、それぞれのニーズに応じサービス利用できることから、グループホーム独自の多機能化までには至っていない。	<ul style="list-style-type: none"> 敷地内の施設でサービスが可能であれば、独自の多機能化にこだわる必要があるのですか？ 限られた人員ですべてのニーズに応えることは難しいと思いますが、地域資源を活用しながら利用者様のニーズに応えられる取り組みをご検討ください。 グループホームにはグループホームとしての多機能化があるし、取り組まれているのでは？ 敷地内の併設事業所と連携がとれているものと考えれば、総合してグループホームの多機能化と評価しても良いのではないのでしょうか？ 		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍により、地域資源の掘り起こしや活用には消極的とならざるを得ない状況であった。	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源については、包括支援センターからも情報提供しながら一緒に掘り起こしに取り組めるようにしていきたいです。 今後に期待します。 地域資源の掘り起こしについて、具体的にはどうでしょうか？ 新型コロナの影響等で難しかったと思います。今後は地域密着型サービスの役割を意識した取り組みをご検討願います。 次のステージに向けた意識を持ちながら取り組んでいることを自己評価に加えてはどうか？ コロナ禍では、人との接触がタブー視され、従業員さん、利用者さんともに苦労されたことと思います。少しずつ元の事業に戻ることを願っています。 		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関への受診については事業所に対応している。かかりつけ医への受診は原則家族対応をお願いしているが、都合により事業所でも対応しており、受診結果については適宜家族へ報告するなど、情報を共有している。利用者それぞれの疾患に応じた受診は出来ていると思う。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時、退院時ともサマリーを活用し、医療機関との連携は図られている。入院中も医療機関と連絡をとることでスムーズな退院調整ができるよう、情報収集に努めている。		A. 充分にできている(2名) B. ほぼできている(5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入院による機能低下など、情報共有することでスムーズに再入居できるように支援をお願いします。 ・利用者様が万が一長期入院されたとき、戻る部屋があるか不安だと思います。家族にとってもあると思いますが、その辺りはどうなのでしょう？ ・継続した取り組みをお願いいたします。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用開始(契約)時に重度化や看取りに関する意向確認を行っている。状態低下の見られる利用者については、嘱託医より家族に対し説明していただくなど、他のサービス利用を含めて今後の方向性についての話し合いを持つよう支援している。		A. 充分にできている(3名) B. ほぼできている(4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者様の家族にとっては、何より心配、不安なことだと思いますので、十分に家族と話し合いはもって欲しいと思います。 ・入居期間が長期となっている利用者の意向確認はどうされていますか？時間の経過や状態変化により、意向の考えも変わる方もいらっしゃると思います。適宜、(本人)、ご家族に確認をされ、意向に沿ったサービス提供を期待します。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急時や事故発生時の対応等に関するマニュアルは、職員の見やすい場所へ掲示し、また、発生時に備え内部研修等で定期的に再確認している。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各種災害を想定した防災マニュアルを作成するとともに、母体施設との合同避難訓練(年2回)を実施している。事業所内での火災発生時の避難誘導についてもマニュアルを整備し、定期的に訓練(部分)を実施している。また、災害時の備蓄についても見直し、定期的に補充、点検を行っている。地域との協力体制については事業所からの働きかけは消極的となりがちで、不十分である。	<p>・年2回の訓練の実施や、マニュアルの整備、備蓄の見直しで災害対策をしっかりしており、とても良いと思います。</p> <p>・早期に地域との協力体制を確立し、地域住民と共に訓練し、対応方法の共有を図ることが重要だと思います。</p> <p>・防災については、マニュアル化されて定期的に訓練を実施しているようですが、例えば長時間停電になった時の対応訓練は行われているのでしょうか？</p> <p>・内部での訓練等、引き続きよろしくお願いいたします。外部からの協力を想定して、日頃から関係づくりを今後ご検討ください。</p> <p>・土砂災害も懸念されるとのことで、マニュアル整備に加え、職員各個の日常的思考と柔軟性が備われば更に避難力は飛躍すると考えます。</p>	A. 十分にできている(2名) B. ほぼできている(4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・部分訓練では、色々な想定をした訓練が出来たら良いと思います。 (長期の停電や断水、土砂災害時の安全確保など)</p> <p>・いつ災害が起きても不思議ではない時代ですので、しっかりとした体制づくりをお願いします。</p> <p>・十分にマニュアル化していて訓練も実施されているようですが、何が起きるか予想がつかないものですので、充分気を引き締めて通常の作業にも取り入れていただければと思います。</p> <p>・災害に備えるものの、それを超えてくるのが自然災害の怖さです。それを上回る備えが結果として捉えても良いのではないのでしょうか？ただし…</p> <p>・運営推進会議の意見等を踏まえ、体制の強化をご検討ください。</p>
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	心にゆとりがない時などに不適切な言葉が出てしまうこともある。身体拘束廃止や虐待防止・認知症ケアについて定期的な内部研修を繰り返すことで言葉かけ等に対する意識は保たれていると思う。		A. 十分にできている(1名) B. ほぼできている(6名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<p>・職員の介護ストレスが溜まらないよう、職員への配慮もお願いします。</p> <p>・従業員の記述を肯定することは不適切なことかもしれないが、否定もしきれず、職種的な難しさであったり、苦しさ、大変さを感じ取れ、ある一定の理解はできる。それでも利用者や家族は感謝している部分も多くあると考える。</p> <p>・業務等への慣れによる不適切な対応が発生しないよう、職員さん相互のチェックや意識付け等に取り組んでみてください。</p>

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る限り本人のペースを尊重した対応を心がけているが、入浴に関しては業務の都合(行事)等で職員の都合を優先している時もある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誕生日食や季節の食事など、利用者とともに食事作りを楽しんでいる。日常的な食事については、職員と一緒に食事を摂ることができていない。		A. 十分にできている(1名) B. ほぼできている(6名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が楽しみな方は多いので、料理だけではなく、楽しい雰囲気づくりも必要と思います。 ・食事については、職員さんが一緒に摂れなくても声をかける等すれば良いのではと思います。(一言でも) ・利用者が食事に満足しているかどうかは、その食欲などで感じ取ることができ、十分にできているものとする。 ・(職員さんの負担にはなるとは思いますが)食べる楽しみだけではなく、作る楽しみも感じられる取り組みを期待します。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の食事・水分量の確認を行い、低下時は代替品の活用や水分量確保に努め、必要に応じて医師に相談するなど栄養補助食品等も活用している。個々の摂取状況や希望に応じた食事形態(ex おにぎり)も工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯磨きについては朝・昼・夕3回実施している。協力医療機関である歯科診療所より歯科衛生士が口腔指導に訪れ、本人の状態に応じたブラシや用具の使用など口腔ケア指導を受け、必要に応じて歯科受診対応している。		A. 十分にできている(4名) B. ほぼできている(3名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して取り組まれるようお願いいたします。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	失禁のある方でもできるだけトイレでの排泄が自立継続できるようパットの種類を工夫し、また、トイレでの排泄が可能な方については排泄パターンを把握しトイレ誘導を行い、トイレでの排泄が維持できるよう支援している。生活意欲の向上につながっている。		<input type="radio"/> A. 充分にできている(3名) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている(4名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・利用者様によってはトイレが近い方もいると思いますが、その度排泄の支援をされて、特に夜中の支援は大変かと思えます。本当にご苦労様です。</p> <p>・個別の対応には、利用者個々の状況把握が大切だと思います。引き続きの取り組みをよろしくお願いいたします。</p>
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人の希望を聞き取りし温度調整等適宜行っている。また、入浴剤使用や音楽を流したり、会話をする等、工夫しながら楽しい入浴となるよう努めている。本人が入浴を拒否した場合や体調不良等見られる場合には無理強いすることなく、入浴日を変更するなど柔軟に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	室内の温度や衣類・寝具の調整を行い、心地よく休めるよう工夫している。本人が好きな時間に休むことができるよう支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	各担当職員はアセスメント時に薬の種類、作用・効能等を一覧表に書き出すことで、服薬の把握につなげている。誤薬等の事故も起きていない。		<input type="radio"/> A. 充分にできている(2名) <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている(5名) <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・薬の作用、効能だけではなく、副作用についても理解を深めると更に良いと思えます。</p> <p>・薬の管理として一覧表に書き出すことによって職員さんの見落としが無いと思われる、良い成果がでていると思えます。</p> <p>・体調、症状に影響のある大事な取り組みだと思えます。十分な注意のもと取り組まれるようお願いいたします。</p>

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のできることを役割の一つとして捉え、やりがいを持てるよう支援している。利用者個々の好みに合わせ、音楽・新聞・広報誌、パズルなどを提供しているが、バリエーションが少なく、より個人の楽しみに繋がる内容を模索していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌などで活動の様子が分かり、入居者の方が楽しんで生活している様子がみられます。 ・利用者にとって役割ややりがいは重要であり、その人個人の好みを知ることは大変であると思いますが、より良い支援のために必要であると思いますので、継続していただきたいです。 ・利用者の希望を聞いたうえで準備するものと思いますので、今後に期待します。 ・皆さんで楽しめるようなゲーム、室内でできるボウリングとか(昭和の歌手のビデオを見せるとか興味を持てるよう工夫してみてくださいはいかがでしょう?) ・限られた人員ですべてのニーズに応えることは難しいと思いますが、地域資源を活用しながら利用者様のニーズに応えられる取り組みをご検討ください。 ・旬を取り入れたメニューや回転寿司など工夫し、更には食欲増進など好影響もみられたとのこと。口からの摂食は生きる上でたいへん重要なことと認識しているので、今後も継続され、更なる展開が期待されます。 		・普段の様子が広報誌でしか分からないこともあるので、可能な限り訪問させていただきたいと思います。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅訪問を目的とした個別的な外出支援では、家族等の協力を得るなどして対応出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を聞いたうえで準備するものと思いますので、今後に期待します。 ・その日の希望に沿った外出は対応が難しいとは思いますが、ちょっとした買い物に出かける等、日常的な外出支援ができれば良いと思います。 ・利用者様が地域とのつながりを感じられる取り組みを引き続きお願いします。 ・家族の協力を得ながら定期的に個別外出がなされているものと報告を確認しています。利用者んのニーズに沿うことは大変なことと理解していますが、今後においても継続されてください。 		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出があまりできなかったため、お金を使える支援はほとんどできなかった。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手紙のやり取りは殆どないため行っていない。オンライン面会にてビデオ通話は行っている。また、携帯を持っている利用者については、家族に電話を掛ける際など一部支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関や食堂のテーブルにも季節の花を飾るなど癒しになるよう工夫し、また、季節を感じられる掲示物を作成・掲示している。廊下やホールには椅子を多く配置することでいつでも休む事ができるよう配慮し、ホールでは天窓から柔らかい光が差し込み、天候に応じ照明等で明かりを調整するなど、居心地よく過ごせるように自然な雰囲気演出できている。		A. 十分にできている(3名) B. ほぼできている(4名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・事業所内の換気が十分にできるような工夫が必要だと思えます。 ・なかなか訪問する機会がなかったですが、今後はなるべく訪問していきたいです。 ・(それぞれの自宅と同じ環境は難しいとは思いますが)心穏やかに過ごせる環境づくりの継続をお願いいたします。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のコミュニケーションの中から思いを感じ取るようにし、本人の望む暮らしに近づけるよう努めている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時のアセスメントや会話の中から、これまでの生活の様子や習慣などを確認し、本人の思いにより一層近づけるよう努めている。本人から確認が難しい場合は、家族より聴き取りを行い参考にしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通院に関しては家族が対応できない場合は通院支援を行っている。また、毎月の医師の往診や、体調不良時には看護師からの指示を受けながら、適切な対応ができている。		A. 十分にできている(6名) B. ほぼできている(1名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・状況に応じた対応を引き続きよろしくお願いたします。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事や入浴については、拒否等みられた際は無理強いせず、時間をずらすなどして対応しており、個々のペースでゆったりと過ごすことがおおむねできている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使い慣れていた家具やお気に入りの洋服など持参していただくよう働きかけているが、持ち込みは少ない。家族の写真を飾るなど、できる限り本人が安心して生活できる心地よい空間となるよう配慮している。		A. 十分にできている(3名) B. ほぼできている(3名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・継続した取り組みをお願いいたします。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出行事を企画、実施できている。夏祭りや敬老会、普代祭りにも参加し、家族等との交流を図ることもできた。	<ul style="list-style-type: none"> ・他にも文化祭やチャリティー演芸会など、様々なイベントがあるので、どんどん参加していただきたいです。 ・コロナが落ち着いて、以前のような交流が制限なくできることが何よりも良いと感じています。 ・コロナの規制緩和もあり、今後に期待します。 ・利用者様が地域とのつながりを感じられる取り組みを引き続きお願いします。 ・利用者との外出支援は何かとリスクがあり、その苦労はたいへんなものがあると思います。定期的に外出支援されていることが、運営推進会議から伺えます。 		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割や楽しみごとについて、マンネリ化しているところもあるので、本人のできること(可能性)に着目しできることが増えるよう支援していきたい。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	余暇活動等では楽しそうにいきいきとした笑顔で参加している方もいる。また、家事等手伝いでは、いきいきとした様子がみられる方もいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている(6名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中でも役割を持つことで生きがいにもなりますので、今後も続けていただきたいです。 ・利用者様が何かできるような手作業があれば与えてみても良いかと思えます。 ・利用者が入所以前に好んでいたこと等を把握、取り入れながら取り組みを工夫されることを期待します。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
48	本人が持つ力の活用	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここ数年に比較すると、外出行事等を通じて地域の方々との交流を図ることが増えてきている。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以前のような交流ができるように早くなっていければ良いと思います。 ・コロナの規制緩和もあり、今後に期待します。 ・年に数回行っている健康教室、公民館で行っていますが、参加できると良いと思います。おしゃべりして、お茶をして、物づくりをしたりと、楽しい場です。春は花の寄せ植え作りもあります。 ・新型コロナウイルスの影響等で難しかったと思います。今後は地域密着型サービスの役割を意識した取り組みをご検討願います。 ・評価ではなく提案になりますが、何かしらの労働(草取り、ゴミ拾い)などの社会貢献で意欲が高まる利用者がいれば、生き甲斐につながることはならないでしょうか？しかしながら、昨今では高気温など、危険リスクの方が大きくなるので難しいこととは思いますが… 		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の落ち着きに伴い、外出行事や面会等、家族・地域の方との交流も再開してきたことで、安心した生活を送ることに繋がっていると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスも5類に移行となったことで、今後も外出行事など増えていくことを望みます。 ・日常へ戻ること、本来の形に戻りつつあることが利用者、ご家族にとって安心した生活に繋がることでとても良かったと思います。 ・コロナの規制緩和もあり、今後に期待します。 ・コロナウイルスが落ち着いたら、外での楽しみが増えると利用者様にとっても安心して楽しい毎日が過ごせるのではと思います。 ・取り組みのほとんどはできていて、利用者様に安心した生活を提供できていると感じました。できていない項目の今後の展開を期待します。 ・利用者第一で運営されていることは、運営推進会議でも感じ取ることが出来ます。事業所としてマイナス案件も報告がなされ、開かれた会議となっている印象が強いです。今後においても隣接関連事業所と一体で事業運営を期待します。 	A. 十分にできている(1名) B. ほぼできている(5名) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が外出行事に参加することが必ずしも安心する生活とは言えないと思います。日々の生活の充実のような気がしません。 ・最近コロナ感染者が増加傾向ではありますが、利用者様が不安なく、楽しく生活できるような環境づくりを心掛けていただきたいと思います。 ・一日でも早くコロナが落ち着いて外出が増えて、より一層楽しい生活を利用者様ができるよう望んでいます。 ・評価項目に「分からない」があったほうが良いと思います。 ・感染症等による制限とのバランスを図りながら、利用者、ご家族の意向を踏まえた取り組みの展開に期待します。

